

酒田・飽海大豆情報

第5号

令和3年9月29日

酒田農業技術普及課

TEL 22-6521

FAX 22-6522

成熟期は概ね平年並の見込み! 成熟期の7日後頃に刈取開始!

I 成熟期の予想と刈取り適期の目安です

表-1 各品種の開花期から見た成熟期・刈取り適期の目安

品種名	開花期	成熟期	刈取り適期の目安 (成熟期の7日~20日後)
リュウホウ	7月23日頃	10月1日頃と予測	10月8日~10月21日
エンレイ	7月25日頃	10月3日頃と予測	10月10日~10月23日
里のほほえみ	7月29日頃	10月12日頃と予測	10月19日~11月1日

※予測は現在の落葉状況によるもので、天候の影響による強制落葉等で成熟期が早まることもあります。

- ①成熟期の目安は、葉が黄変して落葉し、全株の80~90%の莢が変色するとともに、粒の大部分が品種固有の色になったときです。
- ②コンバインによる収穫期の判断は、成熟期から7日程度経過し、莢を揺ると莢の中で子実が「カラカラ」と音をたてる状態になったときです。なお、子実及び莢水分は18%以下が目安です。
- ③収穫の晩限は成熟期から概ね20日程度です。



④例年11月に入ると、降雨頻度や、降雨量

が増え、コンバイン収穫の機会が少なくなります。気温が下がり、日没も早まるため子実水分が低下しにくく、収穫作業時間も短くなります。できるだけ天候の良いうちに、収穫が終わるように計画的に作業を行いましょう。

※刈り遅れは、しわ粒や裂皮粒の発生による品質の低下、裂莢による収量の減少の原因となります。圃場の大豆の状況を確認し、収穫適期になったら速やかに収穫作業に入りましょう。特に、「リュウホウ」「エンレイ」はしわ粒や紫斑粒が成熟期後比較的早い段階から増加するため、収穫期に入ったら速やかに刈取り作業に入りましょう。

II まずは青立ち株・大型雑草の除去徹底!

表-2 刈取り前に除去が必要な厄介者たち

種類	特徴	対応
青立ち株	生育の遅れにより落葉や茎水分の低下が進まない。蔓化や病虫害で莢数が少ない場合に発生。 【莢先熟】 莢は成熟に達しているが茎が青く茎水分が多い状況。	汚損粒の原因となるので、収穫前に除去。根張りが良く抜きにくいときは、刈り倒してもよい。
早熟株	病害の発生等で早めに落葉したものも含まれる。 【黒根腐病】 株全体が灰色で、地際部に鮭肉色の粒々が付く。株の残渣が次年度の発生源となる。	地際にカビが見え、根の生育が悪い場合は、病害の可能性があるので、圃場外に搬出。
大型雑草	大豆より草丈が高く、大豆の成熟期でも青々としている草。ホソアオゲイトウ、シロザ、オオイヌタデ、アメリカセンダングサ、オオオナモミ、イチビ等。	コンバイン収穫の邪魔になるだけでなく、種が多い。抜いて圃場外に搬出。
中型雑草	大豆程度の草丈だが、大豆の成熟期でも青々としている雑草。ツユクサ、イヌホオズキ、クサネム、サナエタデ、ワルナスビ等。	群生し多量の種が付く。大豆に絡まり収穫の妨げとなるので、抜き取り圃場外に搬出。
つる性雑草	大豆に絡まり生長する草。除去が困難で葉のポリウムが小さいため見逃され、近年発生が拡大。ヤブガラシ、アサガオ類、アレチウリ等。	除草剤が効きにくい。丁寧に取り除いて圃場外に搬出。



ツユクサ



イヌホオズキ



青立ち大豆

- ① 雑草が繁茂している部分は成熟が遅れることがあります。風通しが悪く、子実水分の低下が妨げられるためと考えられます。
- ② 大型雑草は刈取り作業の効率を低下させます。
- ③ 大型雑草やツユクサ・イヌホオズキ、大豆の青立ち株がコンバインに混入すると、茎葉・種子の汁液が大豆に付着して(汚損粒)、商品価値を大きく損ないます。
- ④ 雑草の種子がこぼれると来年はさらに雑草の発生が多くなる場合があります。
- ⑤ 以上の理由から、青立ち株は抜き取り、雑草は種子が成熟する前に抜き取るか刈り取って圃場外で処分しましょう。

農作業は安全第一!



- ・コンバインで農道や畦畔を走行するときは転倒、転落に注意!
- ・機械を点検する時は必ずエンジンを停止し、不用意に手などを入れない!!